

# 観光業

## 業況、売上、採算

今期（2021.7～9）の業況判断DIは▲52.8で、前年同期(2020.7～9)と比べ44.5ポイント上昇し、大幅に好転しました。

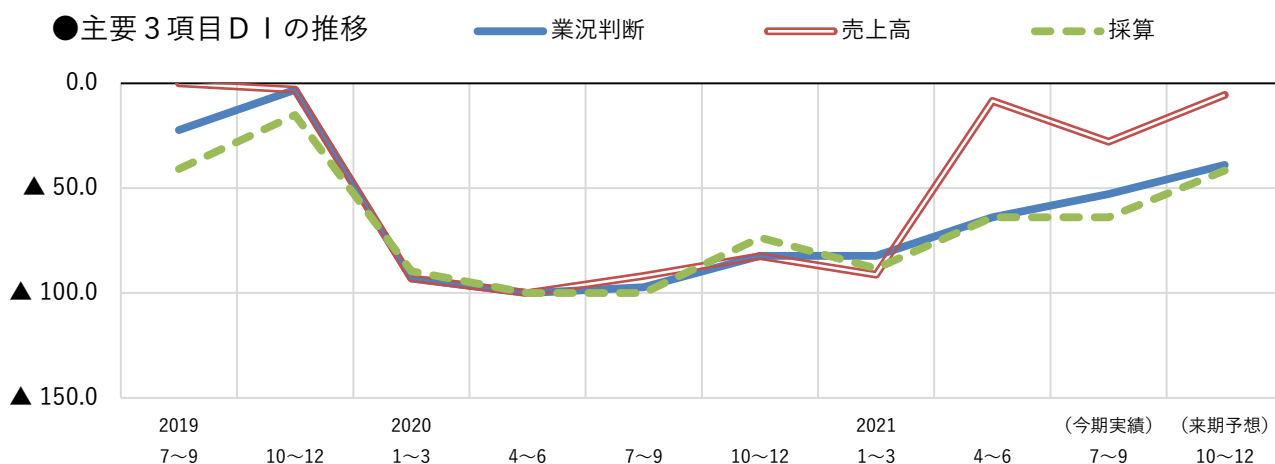
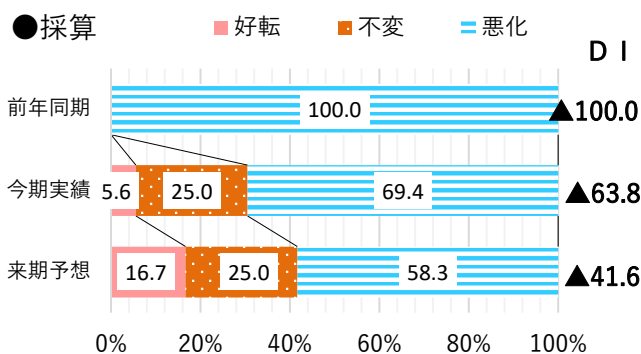
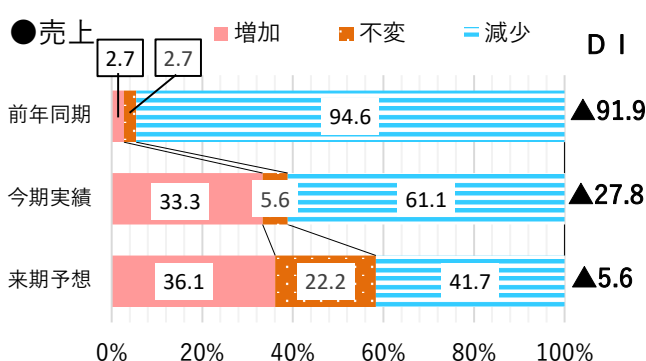
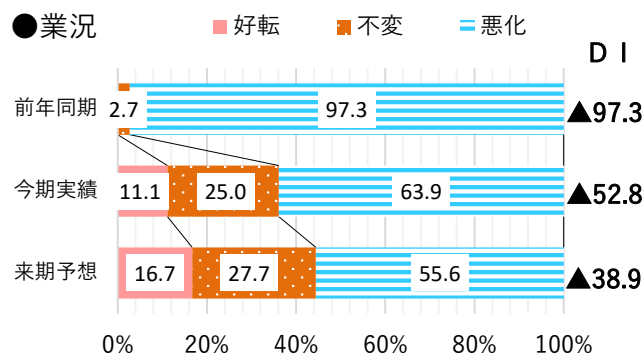
来期（2021.10～12）は、業況の悪化傾向が弱まると予想しています。

今期の売上DIは▲27.8で、前年同期と比べ64.1ポイント上昇し、大幅に増加しました。

来期は、売上の減少傾向が弱まると予想しています。

今期の採算DIは▲63.8で、前年同期と比べ36.2ポイント上昇し、大幅に好転しました。

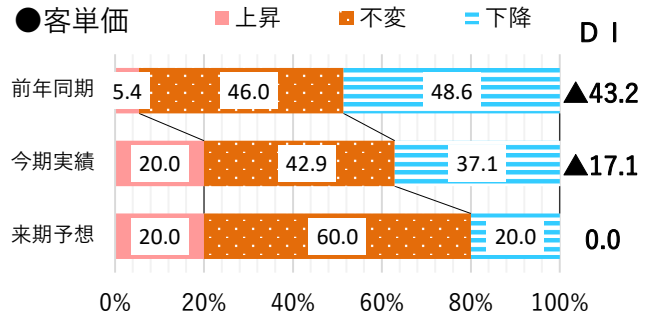
来期は、採算の悪化傾向が弱まると予想しています。



客単価、利用客数、日本人客数、外国人客数

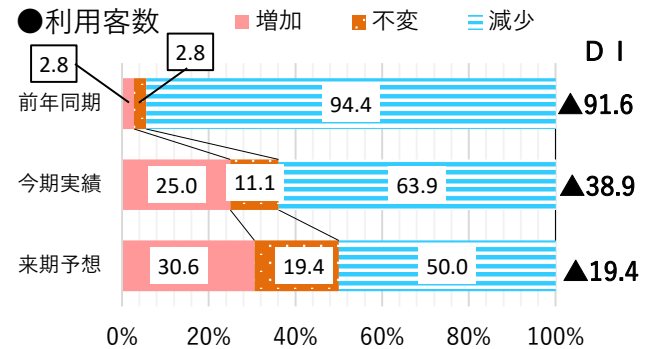
今期の客単価DIは▲17.1で、前年同期と比べ26.1ポイント上昇しました。

来期は、客単価の下降傾向が弱まると予想しています。



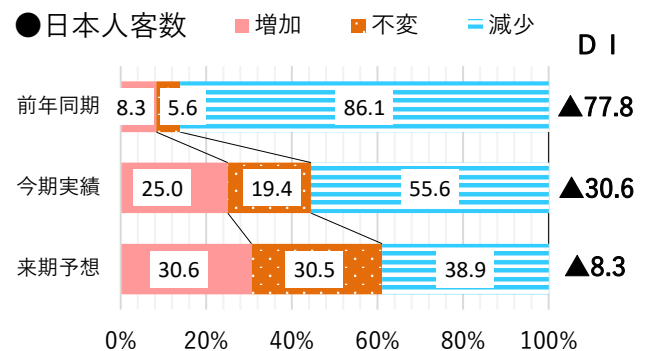
今期の利用客数DIは▲38.9で、前年同期と比べ52.7ポイント上昇し、大幅に増加しました。

来期は、利用客数の減少傾向が弱まると予想しています。



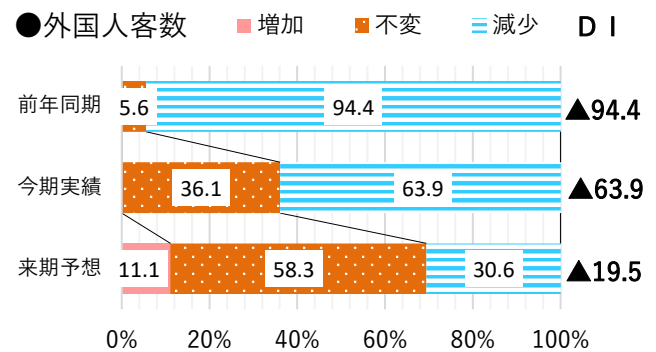
今期の日本人客数DIは▲30.6で、前年同期と比べ47.2ポイント上昇し、大幅に増加しました。

来期は、日本人客数の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の外国人客数DIは▲63.9で、前年同期と比べ30.5ポイント上昇し、大幅に増加しました。

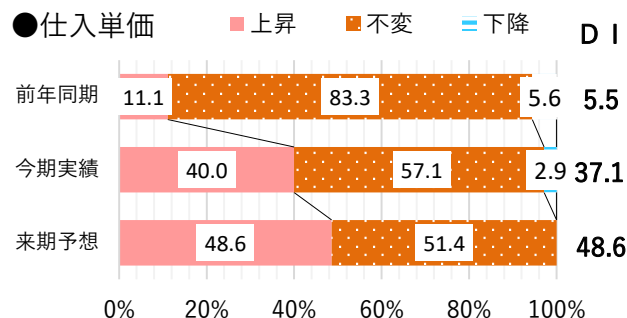
来期は、外国人客数の減少傾向が大幅に弱まると予想しています。



## 仕入単価

今期の仕入単価DIは37.1で、前年同期と比べ31.6ポイントと大幅に上昇しました。

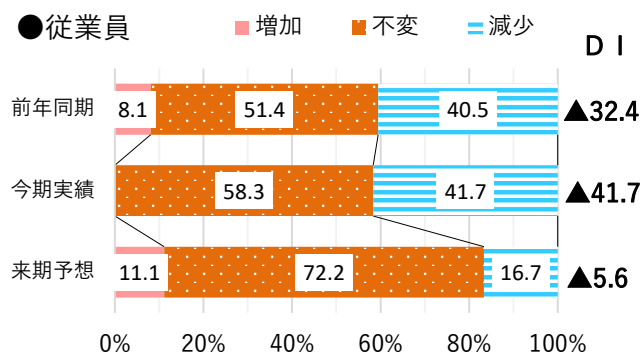
来期は、仕入単価の上昇傾向が強まると予想しています。



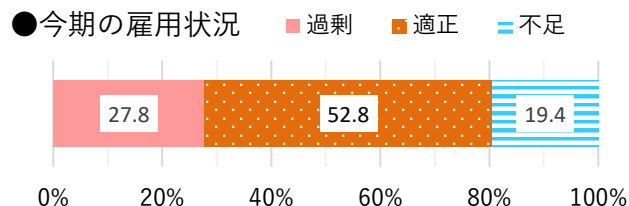
## 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員数DIは▲41.7で、前年同期と比べ9.3ポイント低下しました。

来期は、従業員数の減少傾向が大幅に弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業の割合は27.8%、適正であると回答した企業の割合は52.8%、不足していると回答した企業の割合は19.4%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、観光業全体の33.3%を占めています。

次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で減少し、充足している」という回答でした。

従業員数変化	雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	0
不変だった	過剰	5
	適正	12
	不足	4
減少した	過剰	5
	適正	7
	不足	3

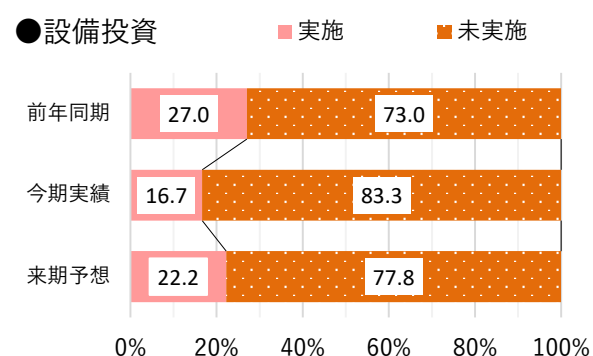
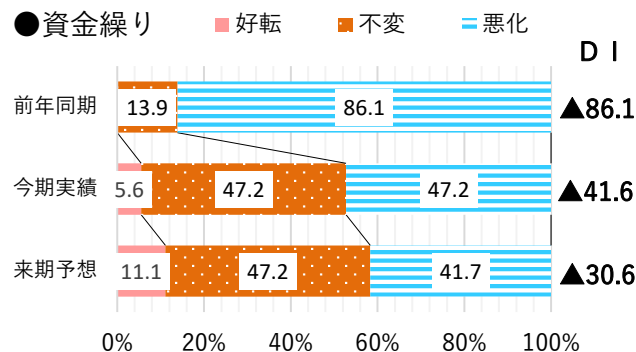
## 資金繰り、設備投資

今期の資金繰りDIは▲41.6で、前年同期と比べ44.5ポイント上昇し、大幅に好転しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が弱まると予想しています。

設備投資を実施した企業の割合は16.7%で、前年同期と比べて10.3%減少しました。投資内容は、1位が「建物」、  
「サービス設備」、「車両運搬具」、  
「付帯施設」（同位）、2位が「OA機器」の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は22.2%で、増加を予想しています。

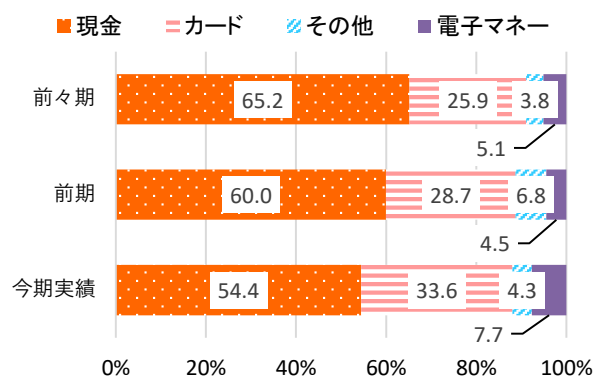


## 今期利用客の決済方法

今期利用客の決済方法の割合は、1位が現金で54.4%、2位がカードで33.6%、3位がその他で4.3%、4位が電子マネーで7.7%となりました。

その他として挙げられた具体的な決済方法は、GoToイート等の食事券、クーポン券、掛売り、銀行振込、教職員互助会等発行の宿泊補助券です。

●今期利用客の決済方法(%)

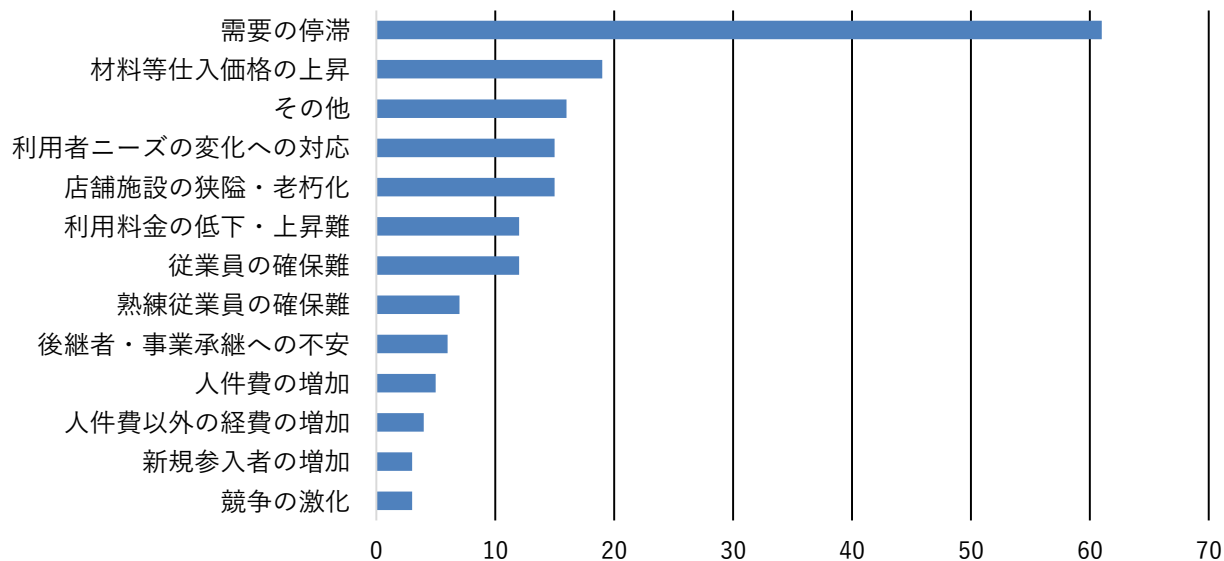


## 客室稼働率

今期調査で回答があった、宿泊業の平均客室稼働率は39.6%でした。

## 経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」、2位が「材料等仕入価格の上昇」、3位が「その他」の順です。



## 企業の声

[今期の業況について]

- 昨年と異なり、G o T oキャンペーンが無いいため、売上が大幅に減少した。9月は特に大きく減少した。昨年同様、インバウンドの利用はない。(ホテル)
- コロナ禍で国内客は減少し、インバウンドは皆無だったため、決算は赤字だった。(ホテル)
- 日本人客が減少し、インバウンドの利用はない。仕入価格と人件費の上昇で、状況は厳しい。(ホテル)
- 新型コロナウイルスが終息しない限り、業況に大きな変化はないと思われる。(ホテル)
- G o T oキャンペーン等の施策がなく、大変厳しい状況にある。(ホテル)
- 昨年同期比の業況は回復したが、コロナ禍以前から低迷が続いている。(コテージ・ペンション)
- 観光客が増えている印象はあるが、インバウンドの来客が期待できない今日では、ツアー等で定期的な来客が無ければ、利益の確保は難しい。(飲食店)
- アルコールの提供ができず、売上が伸び悩んだ。(飲食店)
- 今の状況では日本人客、インバウンドともに増加を見込めない。(飲食店)
- コロナ禍が終息しない限り、明るい展望が持てない。繰り返される緊急事態宣言に辟易する。(飲食店)
- インバウンド、宴会の減少により業況が悪化した。(飲食店)
- コロナ禍による観光客の減少と業績の悪化が続く。不況で取引先が破綻しており、自社も今後の資金繰りを懸念している。ネット通販などに注力し、小さな積み重ねによる立て直しを計画している。(土産品)
- 7～8月前半は観光客が少し増えたが、緊急事態宣言とまん延防止措置によって人出が減り、予約のキャンセルや延期が相次いだ。(土産品)
- 緊急事態宣言のため、店を開けられず、売上はほぼ0円だった。自社は飲食業ではないので、補助されない状況だった。(土産品)
- 昨年同様、コロナ禍によって業況は回復しなかった。(土産品)
- 新型コロナウイルスの感染が終息しないため、業況は悪化した。(土産品)
- 観光客の減少により、物販の売上が減少した。(土産品)
- 原材料価格の上昇により、業況が悪化した。(土産品)

- レジャー利用の対前年度比の売上は、7月が170%、8月が120%と好調だった。しかし、インバウンドによる売上はほぼないので、影響は出ている。(レンタカー)
- 緊急事態宣言、まん延防止重点措置期間だったが、前年同期比の受注は増えた。(レンタカー)
- 8月27日から9月12日までの緊急事態宣言の影響で、売上が減少した。(社会教育)
- 国内客が回復したが、新型コロナウイルスの拡大と緊急事態宣言により再度減少した。(娯楽業)
- 業況が変化する要因は見当たらない。(娯楽業)
- 緊急事態宣言を受け、8月下旬から9月末まで運休したため、業績は悪化した。(船舶貸渡業)
- 緊急事態宣言により、8/27～9/12まで休業し、前年と同程度の客数、売上となった。(水運業)

#### [来期の業況について]

- 国内需要は段階的に回復すると思われるが、インバウンドの動向は分からない。今期と比べ業況は好転すると思われるが、人件費の増加が予想される。(ホテル)
- 新型コロナウイルスの感染状況に左右されるため、見通しが立たない。(コテージ・ペンション)
- 今期と比べ、少しは好転すると思われる。今期以上の悪化はないと予想する。(土産品)
- 単価等を再検討し、地元客の増加を図る必要がある。(飲食店)
- ワクチン接種が浸透してきたとはいえ、変異を繰り返す新型コロナウイルスが脅威となる状況が続き、大きな変化は期待できないと思われる。(飲食店)
- 緊急事態宣言の解除に期待する。(飲食店)
- 緊急事態宣言が解除されれば、客数は回復すると思われる。(飲食店)
- ワクチンの供給が進めば、客数の増加に期待が持てる。(飲食店)
- インバウンドの減少が続くと思われる。(飲食店)
- 今期同様、客数増加は見込めない。昨年はGoToキャンペーンがあり、年末までに一定の売上を確保できたが、今年は期待できない。次の資金繰りについて金融機関に相談しているが、保証付き融資は満額まで借り入れて使い尽くしたので、プロパー資金で対応してくれるのか不安に感じている。原油価格の高騰に伴う原材料の値上げも懸念している。(土産品)
- 新型コロナウイルスの状況は変わらないと思われる。(土産品)
- 今期と比べ好転すると思われるが、大幅な回復は期待できない。(土産品)
- 新型コロナウイルス流行が続くと思われる。(土産品)
- 原材料仕入単価の高止まりが続くと思われる。(土産品)
- 新型コロナウイルスの状況に左右される。(土産品)
- 原材料価格が更に上昇すると思われる。(土産品)
- 見通しが立たない。(土産品)
- 昨年はGoToキャンペーンの影響もあり、好転した時期もあったが、今年はレジャー利用が見込めず、出張者のビジネス利用も減少しているので、厳しい状況が予想される。(レンタカー)
- 夏の観光シーズンと冬のスキーシーズンの端境期のため、業況は悪化すると思われる。(娯楽業)
- 新型コロナウイルスが終息し、通常営業となれば業況は改善すると思われる。(船舶貸渡業)
- 閑散期のため、客数、売上ともに減少すると思われる。(水運業)